

感想

桑港金門學園 河合長子

加洲とメキシコは幼稚園ばかりでなく、町の生活も可成り深く知つて居りますが、堀先生のお書きになつた「世一界週」の中のとほりで御座います。むしろ少しあららをけなし現きていらつしやうはしないか、と思はれる位であります。それでは本日は桑港の金門學園がどの様に經營されてゐるかを御話上げたいと思ひます。

金門學園は今から十七年前始めは極く小さかつたのですが段々生徒が増して、三年前にアメリカの小學校にも劣らない様になりました。東京市に建つ新しい學校と略々同じですが二三變つた所を申上げますと、唯今生徒數は四八〇人、幼稚園

は一五〇—一七〇人で加洲日本人の他の學校は、アメリカ人が主任であります。此處では日本人のためには、アメリカ人の主任ではアメリカスピリットで進んで行くからよくないといふので、日本人が主任になつてやつて居ります。アメリカの先生について毎日二時間語學、唱歌、手技を習ひますが日本と余り變りはありません。日本の子供のこしらへた紙細工を見せてほめられますが、紙の小さな事と、仕事の細かいことは残念でございます。あちらでは大きな、このテールブル位の紙一ぱいにインクをつけてかゝせます。日本人の幼稚園でも試みますが、經費の都合で出来ない所も多い様で御座います。紙にしろ、粘土にしろ、アメリカでは凡べて大きなものを用ひ、實物同様のものが作られます。紙も安く、色も豊富で思ふまゝの色があります。只残念な事は先生の人格的感化教育が出来難い事で日本人の美しいスピリットが

子供に入りませぬ。倫理科、宗教科などの考へが入らないのが惜しい事です。あちらではその方面は日曜學校と教會で行はれますから。

經營の方は一般本學園は日本人會の補助と月謝と無盡講であとした中からお父さんお母さん達が義務的に十五弗—二〇弗を出します。この無盡は大變堅實なもので地方では日本人が百五十人位であるためにこれを実施して居ります。五哩、十哩もある所から來ますから、學校の自動車で送迎いたします。夏になるとそれを利用して山に海にキャンプング致します。林間學校のやうに。幼稚園もついで行く事もあります。平生アメリカ學校に行つてつかれ切つた頭を又、日本學校に行つて、六ツかしい不斷は余り接しない日本語を習はせられていやがつてゐるのですがキャンプングでは面白い日本のお國の話聞かせたりしますので結果がよろしうございます。

學年は補習科八ヶ年、中等科二年(女學校程度)とありまして、その上に高等科は隨意科となつて居りまして、和歌、其他日本趣味のものを學びます。

男子青年會と同じく女子青年會がキリスト教、佛教によつて作られ、十歳位から參ります。リーダーは米國人です。米國に育つたハイスクール出大學出です。アメリカ人は家庭で嚴格に育てられて居りますから、日本家庭の子供をも同じ様に嚴格に育てます。日本にもモダンガールがある様に彼の國にも立派なお嬢様をつくる日本家庭の様な嚴格な家庭が御座います。あちらへまゐつて居ります日本人の中にも立派な家庭も御座いませうが、殆んど移民で、専ら、金々、金に働かすので、夕方になつても幼稚園へ子供を迎へに來ないつていふ風で、小學校になりますともつと甚しいさうでございます、家の入口にお小遣錢を包んであ

てやりまして、それで獨りで遊ばせておきます。
斯んな家庭の子供は日本の本當の家庭もアメリカの本當の家庭も知らずに成長しまして、青年會にまゐりますと、あちらでは男女自由の交際だからいゝ事は起りません。斯うしてクラブに行く様になりますと、不可ない事のみを覚えてまゐります。ハイスクールを出た十六七歳の者が、大學にも行かずに日本人クラブで支那人と一諸にばくちを打つて居ります。勿論みんなでは御座いませぬが、教會にたづさはる者はこれについて心配して居ります。女子青年會等で日本人の禮儀作法が分らないので、それを教へる集會がありました時、未だに歸宅しないと遅くなつて母親から電話がかゝることがいつも二三人はあります。斯んな傾向が段々見えます。男子青年會の方では余り間違つたことは聞きません。女子の方が隠れて悪さをよけいにして居るのではないと思はれます。だんだ

ん日本人が社交といふ上すべりの方に子供を教育して居ります。日本内地では隣近所といふものがあつて社會の制裁が自然のうちによく行はれて居りますがあちらでは日本人同志のお隣といふ様なことがないから、社會的制裁が忽やかですから斯んな傾向が幼稚園の子供にあつても形こそ變れ、同じ様に起つて來ます。今年の一月にボストンの衛生局から性の教育について熱心なるハット、ヌフィスト博士を招聘して一週間御講演を願ひました。第一日はお母様、第二日はお父様、第三日はハイスクールの女學生、第四日は中學生、第五日は男女學生、第六日は一般の子女について。幼稚園でも性の教育といふことは生れた時から氣をつけて居なければなりません。

も一つ申上げたいのは、アメリカの幼稚園は材料が豊富に用はれるだけ、幼稚園は却つて日本が盛でございます。アメリカから歸つて日本で幼稚

園の保母の養成所をつくらうとシカゴ大學の幼稚園の先生を招聘しました。この先生が二三の幼稚園をお調べになつた結果直ぐ歸國されまして、「日本ではこれ以上手をつける必要はない。實に立派です。」と仰いました。アメリカでも勿論よい事は

ありますが、日本には良い所が澤山ありますので私共は保育方法を研究する事も大切ですが、私共それ／＼の立派な人格を持つことが、より大切でございませう。

何かアメリカの幼稚園についてまだ／＼、若しも、お尋ねをいたゞきますならば、何時でも参りまして伺もし、お話も申し上げます。聞き苦しい話を長々御清聴をわずらはしまして恐れいりました。

私は今日の御盛況を拜しまして本會の既往を省みていさゝか感想を述べ、感謝の意を表し併せて皆様の激励を促し度いと思ふ。

私が始めて幼稚園をやつて見ようとしたのが、明治十四年、小西先生がこゝ（東京女子師範附屬幼稚園）の主事の時であります。尤も私は私の能力性質から考へて、私は學理から人を導くことは駄目と考へ、幼稚園の普及擴張の一員として働かうと思つた。當時保育を學ぶ人は、本校の卒業生と傳習所とだけでその他にはない。その頃幼稚園は一の組、二の組、三の組とあり、先生三人、教室三ツに遊戲室。これがなければ幼稚園は出来なものと田舎の方では考へて居た。が十四年にこゝへ來て參觀しまして何うしても幼稚園を始めやうと思つた。その當時一ツ橋に幼児保育場を建てたが、今の托兒所と間違へられたため幼稚園と改名したが、公爵や博士の子弟が來る、髮結ひの子

多田池袋幼稚園長